

# 市議会だより

## 1月臨時会号



市立博物館企画展「昭和はくぶつかん -うつりゆく暮らしとまち-



**新市長の所信表明に対する質疑  
四日市市立図書館協議会条例及び四日市市立博物館条例の  
一部改正案等を可決**

### 目次

1月臨時会の概要、新市長の所信に対する質疑をした議員と項目	2ページ
新市長の所信に対する質疑	3～5ページ
シティ・ミーティングの概要	6～7ページ
可決した議案、常任委員会審査報告、他	8ページ

## 1 月臨時会の概要

四日市市議会は、1月臨時会を1月14日から20日までの7日間の会期で開きました。  
今臨時会では、田中俊行新市長の所信表明に対する質疑を行いました。

また、12月定例会で継続審査となっていた四日市市営中央駐車場及び四日市市営本町駐車場の指定管理者の指定に係る議案、並びに、四日市市立図書館協議会条例及び四日市市立博物館条例の一部改正について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 1 月臨時会の日程

以下の日程で1月臨時会を開催しました

- 1/14(水) 開会  
新市長の所信表明、  
議案説明、質疑、教育民生委員会付託、  
都市・環境委員長報告、質疑、討論、採決  
教育民生委員会
- 19(月) 新市長の所信に対する質疑
- 20(火) 新市長の所信に対する質疑、  
教育民生委員長報告、質疑、討論、採決  
議了

## 新市長の所信に対する質疑をした議員と項目（質問順）

小川政人（政友クラブ）	市長の所信表明について
市川悦子（公明党）	所信表明について
土井数馬（自由会議）	市長の所信表明に関して
葛山久人（緑水会）	市長のマニフェスト・所信表明について
加藤清助（日本共産党）	市長の所信表明・マニフェストを問う
中森慎二（リベラル21）	新市長の所信表明とマニフェストに関連して

## 新市長の所信に対する質疑から

市議会の各会派が、新市長の所信表明について考えをただしました。その中から主な質問と答弁の内容をご紹介します。

### 地区市民センター

### 地域に権限移譲するためにも、センターの充実を



政友クラブ  
小川 政人

**議員** 市長は所信で、地区市民センターに適正な人員を配置するとともに、地域に財源を移譲し地域の権限を増していくと述べているが、この二つは矛盾をするのではないかと。

分権の時代なので市内でも地域分権をするという考え方があり、地域に権限を移譲していくということには大賛成である。そのためには地区市民センターの充実を図らなくてはならない。

楠総合支所には、地域審議会という組織がつけられている。これを例にとり、各地区市民センター全てを総合支所にしてほしいということではないが、総合支所に近い形での地区市民センターをつくるべきである。

本庁ばかりに人を集めておくのではなく、各地域に人を出し、仕事も各地域に分散をし、そして、各地域に財源や権限を移譲していかなければならない。

だからこそ、市長の考える地区市民センターの適正な人員配置が、人を減らすということでは意味がないと考えるがどうか。

**市長** 市民主体のまちづくりを進めるため、市から自治会等の地域団体へ、権限や予算の移譲を拡充していく必要があると考えている。

現在、地区の土木要望等については、地域でその使い道を決める方法がとられており、このような取り組みを拡充していくことで、市民主体のまちづくりが推進されると考えている。

そのためには、地域団体の自主性・自立性の高まりが大変重要であり、今後、行政と地域の役割分担をより明確にしていく中で、地区市民センターについては、適正配置イコール減らすということではないとも考え、その配置を検討し、市民主体のまちづくりを促進していきたい。

**議員** 地域に権限と財源を移譲するには、サポートする組織が必要であり、それが地区市民センターの役割であると思う。地区市民センター職員の適正な配置ということが人を減らすことばかりではないとの回答だが、地区市民センターに、もっと仕事を与えていく方向で進めてほしい。

### 地域医療

### 地域の医療福祉のグランドデザインを問う



公明党  
市川 悦子

**議員** 今後の医療のキーワードは、救急、在宅、終末であり、この3つを継ぎ目なく提供することが重要である。特に地域医療の背骨となる在宅医療の基盤整備を急ぐ必要がある。

安心の在宅医療構築の課題のひとつは看護力の確保であり、在宅医療を進めるためには、ナースがキーパーソンとなり、診療所と連携しケアマネジャーと協働することにより、医療依存度の高い人の在宅が可能となる。

また、地域福祉に関して、四日市方式と言われる、地域包括支援センター（以下、包括センター）と在宅介護支援センター（以下、在介センター）の連携体制は重要である。

地域の医療福祉のグランドデザインをどう考えているのか。

**市長** 高齢や病気になっても不安を感じず、心豊かに生活できる社会づくりが急務であり、安心できる地域医療の提供を目指している。

看護力の確保に関して、高齢者が住み慣れた地域で生活し続けるためには、医療面の支援が

非常に重要であるが、課題の整理が必要であり、今後研究していく。

また、医療機関が介護施設を含めて連携することにより地域全体で生活が完結する地域完結型医療のシステム構築を目指したい。

本市の地域ケア体制は、高齢者の身近な相談窓口として25箇所のある在介センター、それを専門的に後方支援する3箇所の包括センター、さらに内容により本市も対応する3層構造である。今後もこのきめ細かい相談体制を継続していく。

**議員** 地域完結型医療の早期実現を望む。その大切な条件は看護力の確保である。その障壁となるのが訪問看護ステーションに2.5人の看護師が必要という設置基準である。その規制緩和への動きが全国的に強まっており、ぜひ本市で規制緩和に向け特区申請を行ってほしい。

包括センターと在介センターの連携体制は、本市が全国で誇れるべき実績であり、存続だけではなく、さらに発展させるように考えていただきたい。

政策ビジョン

市長の政策ビジョンを問う



自由会議  
土井 数馬

**議員** 新市長が掲げる3つの政策ビジョンのうち「元気なまちにする」というビジョンでは、中心市街地の空き店舗を市が借り上げて交流拠点を形成すると掲げているが、具体的な方策を聞きたい。また、市立図書館は建物の老朽化に加え、蔵書や書架の増加で施設全体が狭くなっている。本市の教育・文化の拠点となるような整備が望まれる。十分に検討してほしい。

「新しい魅力をつくりイメージを変える」というビジョンでは、環境施策の推進等が掲げられているが、人と環境にやさしい交通を目指してパーク&ライドや駅前の駐輪場整備を含め、赤字バス路線などの公共交通機関の利用促進や支援について検討してほしい。

「安心して暮らせるまちにする」というビジョンでは、特別保育の充実や第3子以降の子の保育園・幼稚園の保育料助成制度を掲げているが、幼稚園は私立と公立で保育料が違うため、どのように助成していくのか。また、災害や新型コロナウイルス等の危機に対して、迅速かつ確に一元的な危機管理を行う体制を整備したいということだが、その具体的な内容を知りたい。

**市長** 中心市街地の活性化には魅力向上の観点から、憩い、楽しみ等を体感できる交流空間の創出が必要である。空店舗を活用した地産の

物を地消する場の創出など商業者の能動的な取り組みへの支援に加え、商業者とともに歩行者天国の試験的な実施に向け進めていきたい。

環境への負荷を低減する意味でも公共交通機関の利用促進を図ることが重要であり、誰もが利用できる移動手段の確保に向けて、生活バスよっかいちのような取り組みを推進する。そのため、交通事業者・行政・利用者が連携協力し、地域の住民自らが移動手段の確保に取り組むための仕組みや支援のあり方を検討していきたい。

市立幼稚園の助成のあり方については、より充実した制度にしていけるよう手法を検討したい。危機事案への早急な対応のためには、新たに危機管理監を設置し、防災対策課を危機管理室に改組するなど総合的な体制を構築していく。



地域住民が主体で運営する「生活バスよっかいち」

四日市港

港の発展なしに本市の発展はない



緑水会  
葛山 久人

**議員** 市長のマニフェストには、「四日市港を物流・人流両面で活性化します。四日市港は名古屋港との一港化を目指し、環境にやさしい鉄道利用のシー&レール構想など、機能分担や一体的な港湾運営の仕組み等について、関係機関と検討を開始します」と書かれている。

所信表明において何も語られなかったシー&レール構想は、本市にとって厳しい都市間競争に勝ち抜くための重要な施策であると考えているが、市長の考えはどうか。

**市長** シー&レール構想は、経済界や自治体により構成されている伊勢湾スーパー中核港湾連携推進協議会において検討されている。すでに実施された社会実験において、技術的な点も含めさまざまな課題が示されているが、CO<sub>2</sub>削減による環境問題への貢献という面では、大変重要な役割を担っていると考えられることから、今後も関係機関との連携を図っていききたいと考えている。

**議員** 現在の四日市港管理組合では、三重県

の負担金が多いことから、県内の一つの港という県の考えが優先され、市の思いが伝わっていないのではないかと。港の発展なくして本市の発展はなく、四日市港については、本市が全責任を持つべきと考えるがどうか。

また、名古屋港との一港化では、四日市港が名古屋港の一つの港にしかならないのではないかと。

**市長** 伊勢湾スーパー中核港湾に指定された四日市港は、今後大規模かつ広域的な視点での港湾施設整備を進めていかなければならず、本市単独ではなく、国、県の協力を得て取り組んでいくことが必要である。現在、四日市港管理組合において、四日市港長期構想の策定作業が進められており、平成21年度中に港湾計画が改定される。その改定に際し、本市の考え方を十分に伝えていきたい。

一港化は、四日市港の独自性を発揮しつつ、四日市港がより発展できる方向でなければならないと考えている。



日本共産党  
加藤 清助

**議員** 全国の多くの自治体病院では、経営が年々悪化しており、本来の使命である公共の福祉の増進を目的とした経営形態から、経済性・効率性を最優先させる経営形態への見直しが進められているが、市立病院について地方独立行政法人(1)化を視野に入れているのか。

病院事業管理者が年頭のあいさつで、3年をかけて地方独立行政法人・非公務員型を目指すと言ったのは、先走りではないのか。市立病院の設置者である市長との認識とずれるはないのか。

**市長** 市立病院は、中期経営計画を策定し経営改革を進めるとともに、平成20年7月に地域医療との役割分担、今後の経営形態などを検討する経営評価委員会を立ち上げ、11月に提言がなされた。

その中で経営形態について、当面は地方公営企業法全部適用(2)の継続が適当であるが、厳しい医療環境の中で、優秀な医師や看護師を安定的に確保し、良質な医療を提供し経営の健全化を図るためには、より経営面での自由度が高い地方独立行政法人への移行も検討する必要があるとの提言があった。これを踏まえ、今後3年をめどに、地方独立行政法人化の可否につき一定の結論を出していきたい。

**議員** 4大公害の中で、まともな公害資料館

がないのは本市だけである。環境学習センターの一角に公害資料室が設けられているが、あまりにも貧弱である。公害資料館の設立や公害資料室の独立、拡充についての考えはあるのか。

**市長** 四日市公害は、官民あげて克服に努めており、この歴史的経緯を学ぶことは非常に重要なことであり、公害資料を体系的に整理し、展示等を行うことは必要であると考えている。

**議員** 公害資料館の設置に関して、市民や関係団体と検討する場を持つ考えはあるのか。

**市長** 四日市公害について、情報発信ができる資料を整理し、機能を整えることは重要であり、どのように実行するかについて、関係者から意見を伺う機会を設けていきたい。

**議員** 前向きな検討を期待したい。



環境学習センター内にある公害資料室

1 公共性の高い事業等を効率的、効果的に進めるため、法に基づき地方公共団体が出資設立する法人  
2 地方公営企業に、組織、財務、職員の身分等に関する地方公営企業法の規定を全部適用すること



リベラル21  
中森 慎二

**議員** 市長が掲げている政策ビジョン実行のため、プロジェクト四日市を推進する機関と、その進捗(ちよく)状況を第三者機関として評価・管理する評価・検証委員会を整備するというが、組織構成や設置時期について知りたい。

**市長** 政策の企画立案から実施まで一貫して行うため、経営企画部、総務部、税務理財部を再編し、各部局と連携して政策を推進する部を設置するとともに、関係部局からなるプロジェクトチームを設置したい。評価・検証委員会の構成は有識者や市民10名程度と考えており、早急に人選を行い、準備が整い次第、設置したい。

**議員** 海上アクセスについては、安定的な事業経営のため官民の役割や交通施策を考慮した議論が必要だと思うが、利用せずともターミナルリース料金が7年間課されることや、再開を期待する声が多々あることから、少なくとも夏休みのトップシーズンを再開の目標において議論を集約すべきと考えるがどうか。

**市長** 市民と意見交換する中で海上アクセス

事業への関心が高いことは感じている。しかし、厳しい経済情勢や様々な課題があるため、市として判断を下すためにどのような手法で進めていくかを含め、6月定例会までに示したい。

**議員** 複数の港を一つの港として扱い、寄航コストの縮減や手続きの簡素化を図る「一開港化」を四日市港と名古屋港で行えるよう取り組みを強化すると市長は述べているが、どのような効果を見込んでいるのか。昨年に社会実験を行った、港と鉄道貨物を利用した物流手法であるシー&レール構想の実現可能性はどうか。また、貨物ヤードの移転などJR四日市駅周辺の活性化事業について、どう考えているか。

**市長** 一開港化によって入港船舶数や取扱貨物量の増加が見込まれるため、四日市港や産業の活性化が期待でき、経済面での寄与が見込まれる。シー&レール構想は課題もあるが関係者と連携し検討を進めたい。また、JR四日市駅周辺活性化事業は、中心市街地の活性化を検討する中で考えたい。

## 「シティ・ミーティング（市議会との意見交換会）」を開催

市議会議員が、将来の本市の産業を担うことを期待される工業系・商業系・農業系の専門高等学校の生徒たちや、現在、産業振興を担っている商工会議所の会員と、直接意見を交換し、本市のまちづくりについて考え、今後の議会活動に生かすことを目的に「シティ・ミーティング（市議会議員との意見交換会）」を開催しました。

- ・日 時 平成21年2月6日（金）午後1時30分～4時30分
- ・会 場 四日市商工会議所 3階大会議室
- ・参加者 35人 第1部 市内の専門高等学校の生徒 23人  
(四日市工業、四日市商業、四日市中央工業、四日市農芸)  
第2部 四日市商工会議所の会員 12人
- ・参加議員 17人

### 第1部 専門高等学校の生徒との意見交換会

会場でいただいたご意見・ご提言(抜粋)

テーマ『高校生にとって、四日市市はどんな街ですか』

とても住みやすい。自然が豊かで静かなところがある一方で、街の方は大きなスーパーや遊ぶ場所があって便利である。

おいしい食べ物や良いもの、名物がある。

主要な施設（市役所、駅、文化会館、病院、商工会議所等）が集中しているので便利で良い。

工業の街なので生産関係の企業が集まっていて工業分野の就職が良い。

近鉄四日市駅からJR四日市駅まで歩いて通学する学生が多いが、下校時に遅くなると道が暗くて歩くのが怖い。

近鉄四日市駅東側の商店街への入り口付近は危ないイメージがある。

郊外の地区は、近くにバス停がなく、運行頻度も少なく不便である。高齢者も多く、車道を歩くのも危険である。

テーマ『専門分野を学んだ中で描いた夢～四日市をこんな街にしていきたい～』

建築を通じて四日市をより良くしていけたらと思う。まちなかの均等な人の賑わいをつくりたい。

四日市ぜんそく等で環境に悪いイメージがあるので、学んだことを環境保全の分野に生かしたり、イメージを変えるようなきれいな街をアピールできると良いと思う。

空き店舗の解消が大事だと思うので、店の並びを変えて集約したり、学生に貸し出して出店させてはどうか。

空き店舗がなくなると活性化すると思うので、空き店舗を生かしたモデル的な店があれば進んでやってみたい。

若者の気持ちをつかむことが重要だと思うので、リサイクルショップやスポーツ用具店があると良いと思う。また、四日市限定の商品をつくと良い。

テーマ性のある街、魅力ある街にしたい。便利で人を和ませ、なくてはならないような街にしたい。

ノンステップ型で高齢者に配慮したクリーンな路面電車を走らせ、クリーンなイメージをつくってはどうか。

四日市の特産品で名物をつくりたい。現在、米粉を利用した米粉パンをつくっているが、このような活動を通じて食料自給率を上げられたらと思う。

花を通じて病院や施設のリハビリに活用したり、公園を増やしたり、皆が花と触れ合ってもらえるといいと思う。

公園に花壇をつくれれば人が集まってくると思うので、地域交流や学校教育の一環として行うといいと思う。また、商店街にプランターを置いて、少しでも人が寄るようにするといいと思う。



## 参加者からのアンケートでのご意見・ご提言(抜粋)

議会の人や他校の人と、このような場をもてることはとても新鮮であり、この四日市の街について皆さんが真剣に考えているのだと、より感じる事ができた。

これからもっと四日市を良くするために他校と協力して頑張りたいと思う。

いろいろな意見があり、共感できる部分がたくさんあった。これを機会に四日市が良い街になったらいい。

いつもは聞くことができない他校の専門的な話を聞けて、とても有意義な時間となった。

商店街に対する意見が多く、学校での専門や分野は違っても思うことは同じだと思った。

商店街の空き店舗を利用して学校の生産物を販売するという案はとてもいいと思った。

自分たちが思いつかないような内容があって、とても良い勉強になった。

## 第2部 商工会議所会員との意見交換会

### 会場でいただいたご意見・ご提言(抜粋)

テーマ『産業の活性化に向けて』

中心市街地活性化のキーポイントは、行政の意思を明確に示すことである。市長にやる気になってもらうことが重要である。

国の補助金を得てまちづくりを行うには、まちづくり会社、

中心市街地活性化協議会を立ち上げ、国に基本計画を認定してもらわなければならない。

商工会議所、商店街等が計画を作り、準備会を立ち上げていくので、ぜひ協力していただきたい。

まちづくり会社には市の出資が必要であることから、中心市街地活性化協議会、まちづくり会社の設立には行政の協力が不可欠である。

派遣切りなどの雇用の問題が世間を賑わせているが、中小零細企業には求人募集しても面接にも来てもらえない。

消費低迷にあえぐ商店街救済策として、財政厳しき折ではあるが、他市でも検討されている商品券発行等の給付金の上乗せを本市でも検討してほしい。経済の落ち込みは急激であり、早く対応してほしい。事業所税の枠組みは難しく、周知がうまくできていない。市がもっと積極的に説明すべきである。地場産業の減免についても、範囲等について早く決めてほしい。

事業所税に関して、商工会議所は法律を変更する能力はないので、行政の方でどうしていくか考えてもらいたい。事業所税に対する根本的な考えを示してもらいたい。

他市からの来客の送迎もままならないので、近鉄四日市駅前を何とかしてほしい。地域の活性化という意味でも、市として何とかならないか。また、通り過ぎていく乗客を四日市の駅で降ろす方策も考えてもらいたい。

皆が快適に使える道路をつくってもらいたい。今、商工会議所で市内の渋滞調査をしている。本市は川が多いため信号も多く、それが渋滞を引き起こしている。まとめ次第報告するので、行政での改善をお願いしたい。



### 参加者からのアンケートでのご意見・ご提言(抜粋)

時間が足りなかったので、もっと長く設定すべきだった。

このような意見交換会は定期的開催すべきである。

テーマ毎にキーパーソンによる委員会のような形の方が質の高い、密度の濃い議論ができると思う。

市議会には目に見える行動力を発揮してもらいたい。

固定資産税と違い事業所税は、毎年一定額を納付する必要がある。今は経済状況が厳しい時期であり、納税者が納得し、進んで協力するような税の用途の説明が必要である。

いただいたご意見等については、市議会でも周知を図り、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

また、ご意見については、概要としてまとめたものを市議会ホームページに掲載するとともに、各地区市民センターおよび楠総合支所の窓口で閲覧していただけます。

## 常任委員会 審査報告

委員会で示された主な意見等の概要をお知らせします

### 教育民生

- ◆ 四日市市立図書館協議会条例及び四日市市立博物館条例の一部改正は、図書館法及び博物館法の一部改正に伴い関係する規定を整備しようとするものであり、一部委員からは、法改正の趣旨を踏まえて博物館の事業をより充実させるべきであるとの意見や、図書館協議会及び博物館協議会の委員の選定については、あらかじめある程度の基準を策定しておくべきであるとの意見がありました。

### 都市・環境

- ◆ 12月定例会で継続審査とした四日市市営中央駐車場及び四日市市営本町駐車場の指定管理者の指定について、当委員会としては、運営方法を直営方式や業務委託にした場合に運営管理費の増加や市民サービスの低下が危惧されることから、これを賛成すべきものと決しましたが、駐車場の運営管理費節減による採算性のさらなる向上が求められ、今後、議会を含めた市全体で公共施設の駐車場のあり方を検討していく必要があることから、附帯決議の必要性を認識し、次のとおり付しました。
1. 駐車場の安全性を十分に確保しながら採算性の向上を図るべく、人件費等の運営管理費を削減すること
  2. 入庫後一定時間の完全無料化等料金の値下げを検討し、その実現に向けて特段の努力を払うこと。
  3. 市として中央駐車場の位置付けを市役所付属駐車場とすることを含め、公共施設全般における駐車場の位置付けについての考え方を整理した上で、今後、議会とともに議論を進めること。

※総務委員会、産業生活委員会への付託議案はありませんでした。

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧ください。

### ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市議会事務局

Tel 354-8340 Fax 354-8304

メールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

## 可決した議案

- ◆ 四日市市営中央駐車場及び四日市市営本町駐車場の指定管理者の指定
- ◆ 四日市市立図書館協議会条例及び四日市市立博物館条例の一部改正



### 新市長の所信に対する質疑の録画映像を見ませんか

新市長の所信に対する質疑の様態については、代表質問や一般質問と同様に、ケーブルテレビ（CTV・アナログ10チャンネル）で放送した映像を収めた「ビデオテープ」や、市議会のホームページの「インターネット議会中継」(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)でご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

「ビデオテープ」は、質問日の約5日後から無料で貸し出していますので、ご希望の方は、議会事務局にお問い合わせください。最寄りの地区市民センターや楠総合支所でもお受け取りいただけます。

「インターネット議会中継」は、質問日の約10日後から市議会のホームページで公開しています。

### 表紙の写真について

四日市市立博物館では、「昭和はくぶつかんーうつりゆく暮らしとまちー」が開催されています。自由に触れる展示物もあり、訪れた子どもたちは興味津々な様子で生活用品を触りながら、昭和の時代を体験していました。3月22日（日）まで開催しており、中学生以下は無料です。

### 広報広聴委員会

- |         |         |
|---------|---------|
| ◎ 日置 記平 | ○ 田中 紘美 |
| 伊藤 元    | 鎌田二三男   |
| 杉浦 貴    | 早川 新平   |
| 樋口 博己   | 山本 里香   |
| (◎委員長)  | ○副委員長)  |